

安全就業を心がけましょう

会員の皆様におかれましては「安全は、すべてに優先する」という心がまえで就業に臨み、就業中の怪我や就業先との往復途上において事故にあわぬよう十分気をつけてください。

【安全就業心得 10カ条】

1. 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないでください。
2. 器具類は使用する前に必ず点検してください。
3. 服装、履物は作業に合った動きやすいものにしてください。
4. 作業前には軽い柔軟体操をして体をほぐしてください。
5. 加齢による、諸機能の低下を十分認識し、無理をしないでください。
6. 作業現場は常に整理整頓を心がけてください。
7. 共同作業では、合図、連絡を正確に行ってください。
8. 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけてください。
9. 健康には、常に注意し、健康な状態で就業してください。
10. 仕事の前日には、十分睡眠をとるよう心がけてください。

＜就業へ行く前のチェックポイント＞

- 体調は悪くありませんか？
- 時間に余裕がありますか？
- いつもの携帯品は忘れていませんか？
- 作業や天候に合わせた服装をしていますか？
- 家族などに一声（行き先等）かけて、いざ出発！！

徹底しましょう!

加齢による 事故を防ぐ 安全運転の ポイント



信号のない交差点では、
意識的に首を右左に振って
交差道路の安全を確認!



★加齢に伴い、視野が狭くなるなど視機能が低下し、車や歩行者・自転車を見落とすおそれがあります。

常に先々の状況に目を配り、
前車の減速を先読みして
早めにブレーキ!



★加齢に伴い、危険に対する反応時間が延びて、ブレーキが間に合わずに追突するおそれがあります。

右折するとき、
対向車が接近していたら
通りすぎるまで待つ!



★加齢に伴い、遠近感がつかみにくくなり、危険なタイミングで右折してしまうおそれがあります。

ペダルの踏み間違いによる暴走事故を防ぐために…

発進時や後退時は、
ペダルやシフトレバーの
位置をしっかり確認!

●車を動かすときにシフトレバーを入れ間違えていると、アクセルを踏んだ瞬間、想定とは反対方向に車が動き出し、気が動転して、ブレーキを踏むつもりで反射的にアクセルを踏み込んでしまう危険があります。



自転車に乗るときは

ヘルメットをかぶりましょう!



かぶらないと危険! 事故実態が示すヘルメット着用の必要性

頭部損傷による死亡事故が多発しているから…

★ヘルメットを着用せずに自転車に乗っていたときに交通事故で死亡した人のうち約6割は、頭部に受けた損傷が致命傷になっています。

※全国・2020年 ※警察庁まとめの資料より

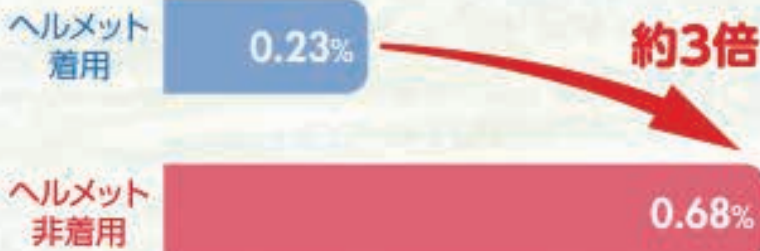


ヘルメット非着用の事故は、死亡事故になりやすいから…

★ヘルメットを着用せずに自転車に乗っていた人が交通事故で死亡する確率は、ヘルメットを着用していた人の約3倍にも及びます。

■自転車乗車中の事故死傷者の「ヘルメット着用有無別」の死亡率

※全国・2020年 ※死亡率…死傷者に占める死者の割合 ※警察庁まとめの資料より



ヘルメットは正しく着用しましょう!

★ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にくるように角度を合わせ、左右均等にかぶりましょう。

★あごひもはしっかり締めましょう。あごひもの長さは、あごとあごひもの間に人差し指1本を入れられる程度が適切です。

正しい角度で左右均等に

あごひもは必ず締める



※総オージーケーカブトのウェブサイト掲載の資料を参考に作成

道路交通法一部改正 2023年4月1日施行

ヘルメット着用が努力義務になりました

- 年齢を問わず、自転車を運転する人は、ヘルメットをかぶるよう努めなければなりません。また、補助いすで小学校入学前の子どもを自転車に乗せるなど、法令に従って他人を乗車させるときは、同乗者にヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。
- 13歳未満の子どもの保護者は、自転車を運転する子どもにヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。(改正前と同じ)